

健康と光線

サナモア光線治療院開設

すでに本紙でお知らせしたサナモア光線治療院が去る9月1日に開院しました。サナモア光線治療院では同封した開院案内の通り、院長の宇都宮正範を責任者として3名のスタッフで運営しますが、サナモアご愛用者各位のお引き立てを得て順調に発足できたことに衷心より厚くお礼申し上げます。

院長を務める宇都宮正範は、慈恵医大を卒業後、慈恵医大附属病院や国立循環器病センターで循環器専門医として研鑽を積み、医学博士の学位を取得しました。その一方でサナモア光線療法については物心がつく前から慣れ親しんでいます。この両者の経験は必ずや皆様のお役に立つと存じますので治療院を活用して下さい。

ルーフ式マルチアーク

療法は強化療法

光線療法の基本となる治療法

は患部照射と全身照射を併用することですが、光線専門の治療院では制約された時間内に効率良く照射するため、通常、治療器の台数を増やすマルチアーク（多灯照射）療法が用いられています。

今般開院したサナモア光線治療院では、主として閉鎖空間内で四台から五台の治療器を用い30分から45分間照射するルーフ式マルチアーク療法で治療しますが、光線の光化学作用に加えて熱作用を利用するため、気持ち良く大量に発汗するのが特徴です。この治療法の目的は充分な照射時間を確保して最大の効果を引き出すことにあり、家庭でのシングルアーク（一灯照射）療法と比べ強く作用することから強化療法と位置付けています。

くる病とO脚と

変形性膝関節症

日本経済新聞に8月14日に掲載された国立小児病院の香坂隆夫医師の「日光浴、骨発育に必

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京 (03)
3793-5281
3712-5322

サナモアの効果を 実体験する場

—変形性膝関節症の成因と治療—

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

に発育してO脚を防ぎ変形性膝関節症を予防します。このように乳児期の生活習慣と変形性膝関節症は密接に関わっています。

骨粗鬆症は悪化要因

香坂隆夫医師は記事の末尾で「紫外線の悪影響を心配するあまり、皮膚におけるビタミンD代謝を軽視するのは、将来、骨粗しょう症の要因を作ることになる。人種や環境条件の異なる諸外国での報道に惑わされず、やはり中庸を守ることが大切となるうか」と現在の日本の紫外線に対する不当な偏見をいましめていますが、中高年の骨粗鬆症も光線を浴びる生活習慣を失うと進行が早まり、骨関節疾患の悪化要因になります。

膝の場合、O脚があると膝関節の内側に体重の負荷がかかるため、関節軟骨が磨耗消失して骨と骨とが接するようになると、変形性膝関節症と診断されますが、骨粗鬆症は膝関節を形成する骨の変形を促し症状を一段と増悪させます。

変形性膝関節症の治療

変形性膝関節症の患者からは、ありとあらゆる治療をしたが治らないという言葉をよく聞きます。しかしここでいう、ありとあらゆる治療に光線療法は入っていません。

ところでこのような患者に膝への患部照射に併せて強化療法を行うと、閉鎖空間内の光線の熱作用で比較的容易に全身的に体温が上昇するため、患部の深部体温の上昇を局所的に血流を促すことで常温に近づけようとする調節作用が強く働き、シングルの光線療法と比べ著しく局所の血管拡張、血流増加を促進します。その結果、患部の炎症に伴う循環障害を改善し、筋肉を弛緩し、炎症物の吸収、排泄を促し、即効性の鎮痛効果を認めると共に回復力（自然治癒力）を高めます。また光線療法に特有な光化学作用によるビタミンDの生成は、化骨を促して骨粗鬆症を改善し、治癒に至る期間を短縮します。このようにルーフ式マルチアーク療法には他の治療では得難い効果を期待できるのです。

最後にサナモア光線治療院の開院に伴い、ルーフ式マルチアーク療法を実体験できる場としての治療院を募集します。詳細についてはお問い合わせ下さい。



讀光譜



昭和39年

「東京オリンピック」

聖火リレー」

宇都宮義真撮影



日光、空気、水、食物

太陽系の一惑星の地球の環境は、これまでの地球の歴史の中で大きな変貌を遂げながら移り変わってきた。中でも光合成植物の誕生と酸素の出現は、それまでの地球の環境を激変させたが、環境に適応できなかった生物は亡び、適応できるように進化した生物と新たに環境に適応して誕生した生物が生き残ったのである。このように生物は常に環境の支配を受けており、環境に適応した生物のみが生きている。

ところで生命を支える環境の四大要素は、日光と空気と水と食物であるが、我々は絶えずその影響を受けて生命を維持している。若しその一つでも不適当であれば天寿を全う出来ない。即ち医療の面に於いても環境の四大要素を軽視することが出来ないのは当然である。

もし太陽がなかったら

太陽こそ環境の四大要素のすべての中核をなすものであり、太陽があればこそ他の要素もある。

る。若し太陽がなかったら、地球は永久に暗黒の世界であり、地球を取り巻く空気は原始大気のままで酸素はなく、万物は氷結して雨が降ることも小川のせせらぎを聞くことも大海を見ることもなく、無論、食物は一切ない。つまり太陽がなければ環境を形成する全ての要素は存在しないのであり、環境に適応して生きている生物が誕生することになったのである。そこにあるのはただ死の世界のみである。

併し環境の四大要素はなくてはならないが故に手の届くところであり、比較的安価で、外見は頗る平凡で鬼面人をおどすところがないから、重要性を正しく認識する人が少ないのである。信心深い老婆が毎朝神に捧げたお水を呑んで長寿を保っているのを迷信と笑う人がいても、水が人体にとって妙薬であることには気付こうとしない。むしろ新薬の新聞広告を鵜呑みにして無批判に浴びるように薬を飲んでいる人より余程理に適っている。

深刻化する

環境汚染

健康を保つとは病気を予防し

環境の四大要素

宇都宮 義真

病気を治すことであり、その力を与える根源が環境の四大要素である。併し文明の発達と軌を一にして環境汚染は深刻な問題として浮上してきた。日光は煤煙や塵埃のような大気中の汚染物質に妨げられて都市部や工場地帯では十分に得られなくなり、

サナモアは

清浄な人工太陽

清浄な日光を浴び、新鮮な空気を呼吸し、湧き出る清水を飲み、太陽の恵みを吸収した栄養価の高い弁当を持ってハイキングをするだけで健康になれる。このように汚染とは無縁な恵まれた環境には健康を増進する効果があるが、この内、清浄な日光と同様な光線を人工的に放射するのがサナモアカーボンである。

サナモアカーボンはイビデン㈱が最高の品質の原材料を用いて製造しているが、イビデン㈱の卓越したカーボン生産技術は、昭和35年度の大河内生産記念賞(理化学研究所の創立者、故大河内正敏博士の功績を記念して与えられる権威ある賞)を受賞しているのである。このサナモアカーボンを使うサナモア光線療法に優れた効果があるのは、言わば光線療法の生命線を握る清浄な日光に含まれる有効なすべての光線を放射するからである。

「健康と光線」

昭和35年5月5日発行

「環境の四大要素」を引用した。

サナモア便り

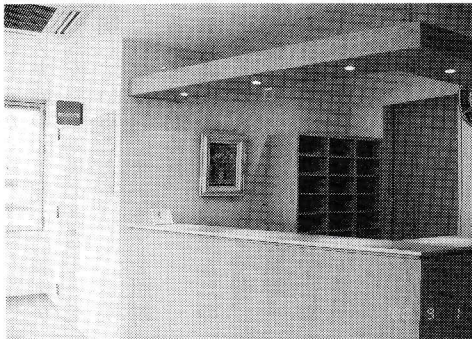
vol.3

宇都宮 正範



サナモア光線治療院開院

以前から紙面上で報告してきたサナモア光線治療院が無事完成し、九月一日に開院した。二



受付カウンター

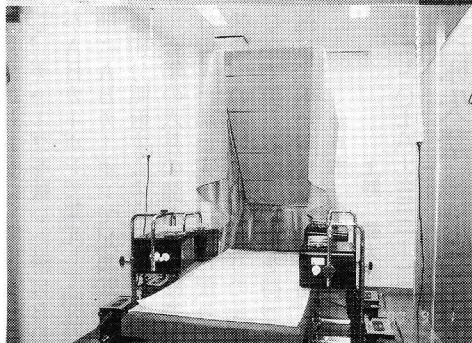
月に始まった工事も予定通りに進み、事故もなく竣工できたことは喜ばしい限りである。治療院は、二階にカウンセリング室とルーフ式・マルチアーク療法による治療ベッドが四台設置可能な治療室を配し、三階には約三十名を収容できる会議室を確保した。開院にあたっては、多くの方々のお祝いや励ましの言葉を頂き、この場を借り御礼を申し上げるとともに、院長としての責任を痛感している。(写真上中)

第二期

サナモア光線治療師

養成講座を開講

この程行われたサナモア光線



治療室

治療師養成講座は、初めての試みとして、三か所の都市で開催した。参加希望者が北九州地区四名、関西地区二名、東京一名となったための措置で、六月二十四日、二十五日を博多で、七月八日、九日を神戸で、八月二十五日、二十六日を東京で行った。とくに東京での養成講座は、事実上サナモア光線治療院のこの匂いがたちこめる会議室において、楽しく開講することができた。なお、複数都市での開催という悪条件の中でご出席いただき、見事試験に合格された七名のサナモア光線治療師の方には、今後のご活躍を大いに期待する。(写真下)



養成講座の参加者―東京―

第三回

「光と熱研究会」のお知らせ

サナモア光線協会では、サナモア光線治療師やサナモアカウンセラーが光線療法についての研鑽を積み、会員相互の連携を深めることを目的とした研究会を本年四月から開催してきた。

第一回と第二回は、会場の都合で参加者を限定したが、この程サナモア光線治療院内に会議室が完成したので、次回からは、広く参加を呼びかける予定である。研究会は、光線療法や医療に関連した話題の講演や治験例の報告が中心となるが、希望者は気兼ねなく参加して頂きたい。

日時・十月二十一日(土)

午後一時三十分

場所・サナモア光線治療院
三階会議室

掲示板

治療院にて行うルーフ式・マルチアーク療法は、大量の発汗を促す治療法のため、下着(パンツ)の替えをご用意されると良いと思います。

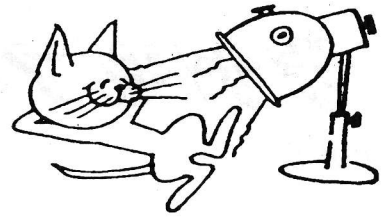
サナモア光線治療院

☆膿胸

症例 46歳 女性 公務員

症状 昨年11月、胸部の激痛で近医を受診し肋間神経痛と診断された。しかし帰宅してからえぐられるような痛みで身動きがとれず救急車を呼ぶ。病院では応急処置だけで最初の医師に診てもらおうように言われたが、39度6分まで発熱、息をしても痛くて眠れなかった。次に紹介された病院で初めて膿胸と診断され、胸腔内にチューブを入れ洗浄されたが、余りの苦痛に洗浄は止めてと強硬に頼んだ。医師は止めたが膿が溜まり、縮んだ肺は元に戻らないとなかなか聞き入れなかったが、しじぶ洗浄を中止してくれた。

入院して一ヶ月過ぎた頃、ウ



— 治 験 例 報 告 —

エノ光線に電話で退院後に光線療法はどうかと尋ねてきたのでウエノ光線の50年間の治験例が呼吸器疾患に効果のあることを証明していることを話し、退院したら積極的にサナモアを照射するように勧めた。

療法経過 間もなく退院したので、A AかA Dカーボンで背、喉、腹に各5分から10分照射するように指示したが、背中に照射すると非常に気持ち良いと言っていた。

退院して二週間後に受けた肺のX線検査で、医師から萎縮したかなかなか元に戻らないと言われていた肺がかなり元に戻ったと言われた時に治る自信が内心湧いてきた。一ヶ月後にはあれ程悩まされた痰や咳が気にならなくなったので、A Dカーボ

☆インスリン依存型

糖尿病

症例 20歳 男性 学生

症状 患者はインスリン依存型糖尿病でインスリンを注射しているが、病院から病状の改善に光線療法の併用を勧められて来所した。来所時、両眼とも糖尿病性白内障のため瞳孔は白く濁り、全盲に近く母親に手を引かれて来たが、高度の糖尿病性神

ンで喉10分、腹10分、腰10分、背は段階的に10分、20分、30分と増し、チューブを抜いた跡はB DかA Bカーボンで集光して20分他にA Bカーボンで足裏20分、膝10分照射するように指示した。今年の六月の肺のX線検査では縮んだ肺は完全に元に戻り、休職中の職場に元どおりの元気な姿で戻れるよう希望を持って毎日光線照射を続けている。

神戸市 ウエノ光線療研
上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八—三三二—一三五八

☆尿失禁

症例 70歳 女性

症状 数年前から尿意を催すとトイレまで我慢出来ずに尿を漏らすようになり、常に紙オムツをしていないとならなくなった。

経痛を訴え、逆流性食道炎のため胸やけを訴えていた。

療法経過 三灯または四灯照射法を用い、B Dカーボンで側臥位で顔30分、腰と大臀部と膝に同時に30分、次に腹30分、後頭部と膝裏と足裏に各10分照射し、次いで仰臥位で左耳と右甲状腺と左横腰と右横膝各10分、右耳と左甲状腺と右横腰と左横膝各10分照射してから、患者の希望する部位に追加して照射した。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サナモアA B C Dと効果が同じという根拠も無いような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので與々もご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています。)

東京光線療法研究所

そのため病院で治療を受けたが、一向に回復の気配がなかったため、サナモア愛用者の紹介で光線療法を試してみたいと来所された。

療法経過 患者は足が非常に冷たく、腰から下がいとも冷えていて夜も良く眠れないと訴えて

患者は五ヶ月後に検査値が安定し、両眼の白内障の手術を受け、良く見えるようになったが、神経痛は良くならなかったので、A BまたはA Aカーボンで膝、足首、アキレス腱、足裏に照射を続けた結果、九ヶ月後に痛みは楽になり、現在は良好に経過している。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四—七二二—五〇六七

いたが、尿失禁に下半身の冷えが関係しているのではないかと考え、重点的に下半身に照射することにした。治療はA Bカーボンで足裏、足首、膝、膝裏に各30分ずつ三台で照射したが、足が温かくならないので更に足裏に20分追加して照射した。また他に背、腹、後頭部に各20分照射して治療を終えた。

患者は一週間後に来所されたが、治療後は身体がぽかぽかと温かくて良く眠れ、尿漏れもなかったもので、是非自宅で治療を続けたいと治療器を購入された。その後、三ヶ月で尿失禁は殆どなくなり、約半年過ぎた頃には完治したと喜んでいられた。

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

TEL 〇九二—八五八—二〇三九
五七二—一五七三

病名は付いたけど？

西洋医学は本当に患者の満足を得るだけ進歩したのでしょいか。答えは「ノー」です。無論、五十年前に比べれば差は歴然としていますが、決して患者の数が減少したわけではなく、患者が十分に満足しているわけでもありません。かえって、患者数や病気の数は診断技術の進歩に伴い増えています。つまり、CT（コンピュータ断層撮影）や超音波検査などの画像診断装置の進歩は、治療を要する病気の他に、無症候性であり重要な意味を持たない病気を明らかにし、カルテの病名を記入する欄を埋め尽くす結果となっているのです。検診で、5mmにも満たない胆嚢ポリープや脳梗塞の痕跡を発見され、取り越し苦労されたご経験をお持ちの方も多いことでしょう。このように、西洋医学は検査機器類の発達と相まって、確かなにかなり微細な異常まで発見できるようになりました。このことを以って医学は進歩したと誤解されがちですが、疲れ果てる程たくさんの検査をしたあげく、病名は付いたけど、有効な治療法がまだ見つかっていない病気が、あまりに

患者不在の医療

然るに、昨今の医療現場では病名を付けることに全精力をあげ、診断が付けば一安心といった風潮にあるように思えます。元来、医療は患者の訴えや苦痛を取り除くことから始まり、あくまでも患者が中心で、治療が優先されるべきですが、診断の分野における進歩が著しいため、医師を含めた医療関係者の多くが、病名を付けることに一生懸命になってしまっているのです。もちろん、西洋医学は診断と治療法が一对一に対応するため、病名を付けることが最初の仕事になるわけですが、それにしても、診断と治療の比率には差があります。このような気がします。このよ

サナモア光線療法のおすすめ

— 西洋医学を補完する治療法 —

サナモア光線治療院 宇都宮 正範

よさそうな気がするのは私だけではないでしょう。

経験に真実がある

ところで、時々耳にすることですが、サナモア光線療法を知らない医師が、サナモア光線療法の相談を持ちかけた患者に対し、「身体が腐るからやめなさい」と言ったり、「やったら癌になるよ」と脅かすことがあります。現在の医学部では、光線

うに述べると、治療法は進歩してないかと誤解される方もいらっしゃると思いますが、治療法も前進はしています。外科手術の面でも内視鏡の発達に伴い、腹部を大きく切開せずに済むようになりましたし、抗生剤も多くの患者を救いました。しかし、まだまだあまりにも多くの病気の治療法が闇の中にあります。何はともあれ、病名を追っかけまわすより、もう少し患者に目を向けた方が

療法を含めた物理療法について学ぶ機会はなく、知らないのが当然ですから、知らないにだけ言えはいいのです。それを、患者の相談事を真摯に受け止めず、そのような発言をするとはどういうことでしょうか。先日、日本皮膚科学会は「アトピー性皮膚炎における不適切治療による健康被害の実態調査」（日本皮膚科学会誌）という報告書を作成しました。もちろん患者の病気につけこむアトピービジネスを排除した

サナモア光線治療院の意義

サナモア光線療法を実践するサナモア光線治療院は、あくまでも患者中心の医療を目指すと同時に、西洋医学を補完するという役割を担うものです。西洋医学の弱点である予防医学的な面や自然治癒力の増強といったことがこれにあたりますが、病院医療を十分に把握した上で、その欠点を補うことも目的の一つであり、サナモア光線治療院の意義をご理解いただけることと思います。

最後に、西暦二千年という節目の年に、サナモア光線協会附属サナモア光線治療院を目黒に開院できたことは誠に光栄な事で、サナモア光線療法は西洋医学を補完する治療法として、二十一世紀も皆様の健康を守り続けることと思います。

△ 警告

家庭用光線治療器「はつらつさん」は、カーボンローラーで自動的に送りますので、5分きざみで60分まで照射時間を自在に設定できます。この機能を支えるのが接続できるIBIサナモアジョイントカーボンです。「はつらつさん」はカーボンの残りが6cm前後で新しいカーボンを接続しないと、カーボンがローラーからはずれ大変危険です。一方、ジョイントカーボンは無駄なくスムーズに次のカーボンに移行し、安全性を保ち、事故を未然に防ぎます。そのため「はつらつさん」にはジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。なお使用上の注意は、「はつらつさん」取扱説明書をご覧ください。

サナモア光線協会

はつらつさんご愛用の皆様へ

毎号IBIサナモアカーボンの類似品に注意を促す記事を掲載していますが、別刷「全自動はつらつさんのご紹介」の下、の囲み記事に書いてあるように、またまたサナモアの信用を利用して恥じない模造品のカーボンが現れました。

IBIサナモアカーボンは、東京光線療法研究所の創設者、故宇都宮義真が本紙の讃光譜で紹介しているように、最高のカーボン製造技術を誇るイビデン(株)が医療用に最高の品質の原材料を用いて製造しているカーボンであり、口先だけ誇大内容を伴わない模造品とは比較にならない一級品の高性能カーボンです。

模造品のカーボンは成分分析でもサナモアカーボンとは似ても似つかぬ粗雑なカーボンです。燃すと強烈な悪臭があり、悪臭で頭痛がすると言ふ人もいます。が、悪臭があるから効果がある、と欠点を利点にすり替えて善良なユーザーを欺いているやに聞きます。しかしごみ焼却場で廃棄物を燃しているのではないのですから、燃して悪臭があること事態が医療用として不適当であり、不純物を多量に含んでいる何よりの証拠なのです。カーボンの優劣は正直です。実際に使ってみれば必ず肌で実感できます。(株)東京光線療法研究所は宇都宮義真が高価でも最高のカーボンを求め、サナモアのユーザーに誠実でありたいと願って製造してきたサナモアカーボンの伝統を受け継ぎ、真実はひとつ、サナモアの効果は必ず

真実はひとつ

宇都宮 光明

お知らせ

☆特典付き「はつらつさん」販売キャンペーン

(南)光線普及協会は、サナモア光線治療院で「はつらつさん」を使用するのを機に、別刷「全自動はつらつさんのご紹介」の上段の囲み文書でお知らせした通り、平成12年9月1日から平成12年末まで「はつらつさん」の特典付き販売キャンペーンを実施します。特典の内容は小売価格を3万円値引きし、希望するジョイントカーボン10箱をサナモア光線治療院で「はつらつさん」をご購入いただき、「はつらつさん」の利便性を体験していただくことをお勧めします。

☆「はつらつさん」2号器の貸し出し

サナモア光線治療院

通院が不可能なご病人、あるいは多忙で毎日通院することが出来ない方のため「はつらつさん」2号器の貸し出しをします。
料金 一日 1,500円
カーボン代は別途

保証金 100,000円
(送料はご負担願います。)



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行。
二、サナモアカウンセラーの募集と育成。
三、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会 TEL (03) 3793-1528
三七一-五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)